

令和6年度 学校の経営方針として、

- ア 生徒が意欲的に活動し、わかる・できる・身に付く・活用できる力を育てる授業づくり
- イ 学校行事・体験活動・道徳教育の充実を図り、日々の生活に生かす心の教育の推進
- ウ 自他の生命を大切にし、相手の立場に立って考えることができる生徒の育成
- エ 目標に向かって努力する気力と体力ある生徒の育成

を掲げ、教育活動を進めました。

ア 生徒によくわかる授業・生徒の学力のつく授業・生徒が意欲的に活動する授業づくり

- ・Q1「お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている。」↑87.2%（昨年83.3%）
- ・生徒Q1「学校は、楽しいですか。」↑92.5%（昨年88.2%）
- ・Q2「お子さんは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。」↑73.8%（昨年67.5%）
- ・生徒Q2「授業は、よくわかりますか。」↑75.6%、市内平均73.7%（昨年72.1%）
- ・Q16「学校は基礎学力の向上に取り組んでいる。」↑88.4%（昨年81.3%）

※基礎基本を身に付けるとともに、生徒同士が対話できる場を設け、学習意欲と学力の向上を図る。

- ⇒主体的・対話的で深い学びを実現できる授業展開を工夫して意欲の向上を図る。
- ⇒ICTを有効に活用した授業を実践する。
- ⇒全学年・全学級で「学習マナー」の向上を図り、学ぶ姿勢や学習習慣を身に付けさせていく。
- ⇒授業中における振り返りの充実を図るとともに、小テストなど、反復練習による知識・技能の定着を図り、達成感を味わわせる。
- ⇒教師が研鑽と修養に努め、授業力・教師力の向上を目指す。

イ 学校行事・体験活動・道徳教育の充実を図り、日々の生活に生かす心の教育の推進

- ・Q5「お子さんは、あいさつがよくできている。」↓80.2%（昨年85.2%）
- ・Q6「お子さんは、社会生活のルールやマナーを身につけている。」↑89.5%（昨年89.2%）

※ルールやマナーを守り、あいさつや中学生らしい身なり・言葉遣いができるように指導する。

- ⇒人として大切なことを家庭と一緒に育てていきたい。あいさつ、身だしなみ、言葉遣い等、気付いたときに声かけられるよう、地域ぐるみで見守っていきたい。
- ⇒清掃活動を通して、奉仕の精神を培っていく。
- ⇒教師と生徒の信頼関係を築いた上で、規範意識の向上をめざしての指導を徹底していく。

ウ 自他の生命を大切にし、相手の立場に立って考えることができる生徒の育成

- ・Q7「お子さんは、思いやりの心が育っている。」↑93.6%（昨年92.6%）
- ・Q11「先生は、いじめや暴力のない学校づくりに努力している。」↑92.4%（昨年86.7%）

※周囲の人に迷惑をかけるような行動に対しては厳しく指導し、いじめのない学校づくりをする。

- ⇒定期的にアンケートや相談活動を実施し、いじめの未然防止、早期発見・対応に努める。
- ⇒道徳の時間を中心として、心の教育の充実を図り、道徳的实践力を育てていく。
- ⇒朝の読書タイム・図書館を通して読書活動の充実を図り、意欲を高めて、豊かな情操を育てる。

エ 目標に向かって努力する体力と気力ある生徒の育成

- ・生徒Q6「自分にはよいところがあると思いますか。」↑79.5%、市内平均75.7%（昨年76.3%）
- ・Q9「お子さんは、自分の夢や目標に向かって取り組んでいる。」↓59.3%（昨年63.5%）

※自己有用感を高め、意欲的に活動に取り組むように指導する。

- ⇒温かみのある声かけを大切にし、自己有用感を高めることで何事にも意欲的に取り組む気力を培う。
- ⇒キャリア教育を計画的・系統的に実施し、進路選択に対する生徒の意識を高め、日々の生活の中で自己を向上させる力を培う。

オ 家庭との連携

- ・生徒Q14「授業以外に、一日にどのくらいの時間勉強するか。」1時間未満 30.7%（昨年32.4%）
- ・生徒Q21「平日のスマホどのくらい使用するか。」2時間未満 39.1%（昨年35.7%）

アンケートへのご協力ありがとうございました。ここに上げた以外にも、多くのご意見・ご要望をいただきました。改善すべきであると考えられるものについては、前向きに取り組んでいきたいと思っております。今後、ご意見等がございましたら遠慮なく学校へお知らせください。（Tel 28-8764）